

坂の上の雲 ミュージアム 開館10周年 記念 シンポジウム



2017

12.3 | 日 |

13:30~16:10

坂の上の雲ミュージアムは今年開館10周年を迎えました。
記念シンポジウムでは、ゲストに竹下景子さんらをお迎えし、
松山の魅力やまちづくりの今後についてお話しいただきます。

この
シンポジウムは全国
モーターボート競走施行
者協議会からの拠出金を受
けて実施するもの
です。



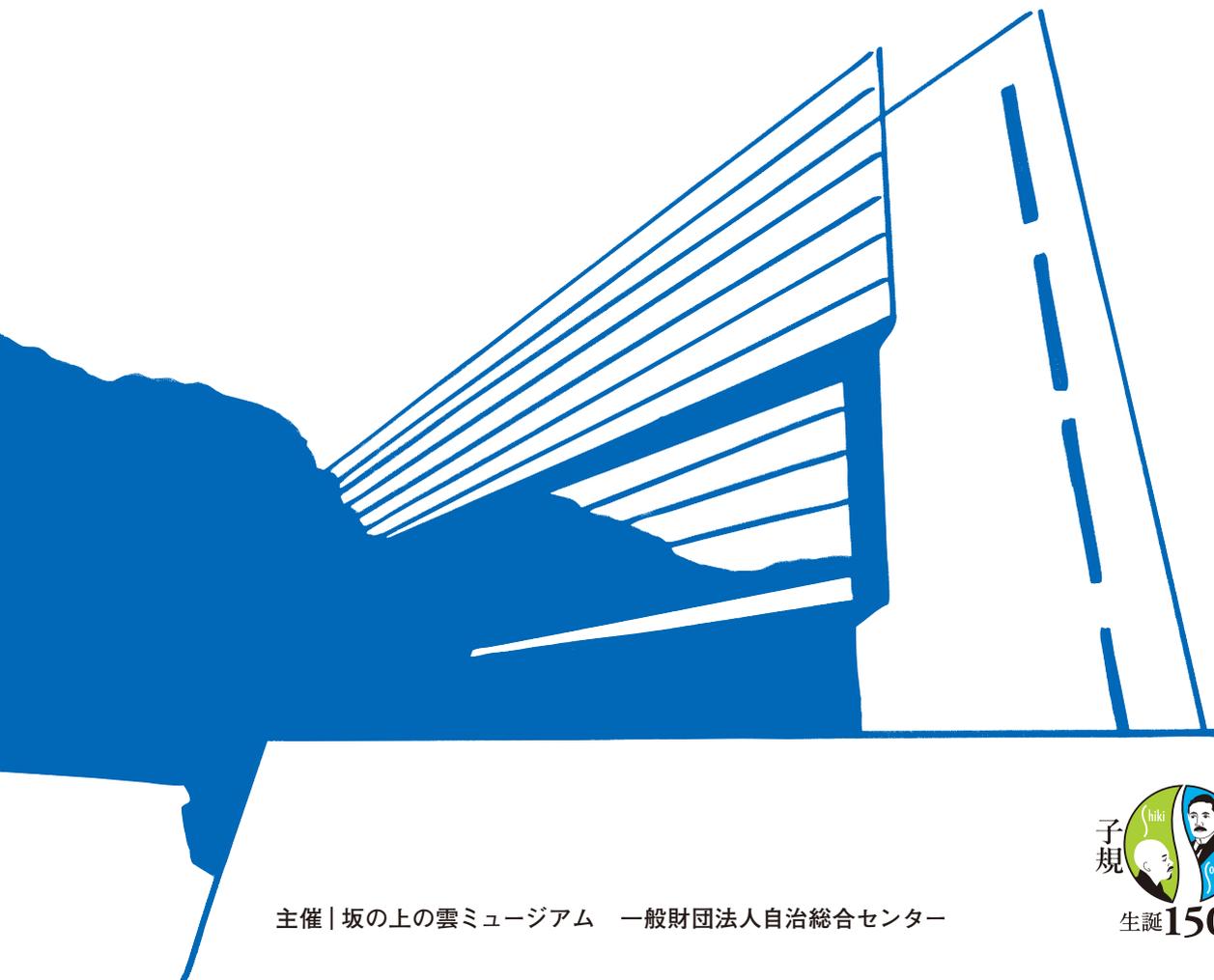
青木亮人さん



竹下景子さん



徳永高志さん



主催 | 坂の上の雲ミュージアム 一般財団法人自治総合センター



生誕150年



『坂の上の雲』のまち

坂の上の雲 ミュージアム 開館10周年 記念 シンポジウム

松山市では、『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり」として、小説を活かした松山ならではのまちづくりを進めています。坂の上の雲ミュージアムはそのまちづくりの中核施設として平成19年4月に開館し、市民のみならずさまざまな活動を行ってきました。

今回のシンポジウムでは、10年間の活動の軌跡を振り返り、『坂の上の雲』のまち松山の魅力を再発見するとともに、今後のまちづくりの可能性について考えていきます。



基調講演

『坂の上の雲』のまち松山の文化、文学の面影をたずねて

講演者：青木亮人（愛媛大学教育学部准教授）

パネルディスカッション

都市の魅力とまちづくりの可能性

パネリスト：竹下景子（俳優、内子町まちづくり応援大使）

青木亮人（愛媛大学教育学部准教授）

徳永高志（NPO法人クオリティアンドコミュニケーションオペアーツ代表）

松本啓治（坂の上の雲ミュージアム館長）

コーディネーター：木藤たかお（フリーアナウンサー）

申込方法

日時 | 12月3日（日）13時30分～16時10分

会場 | 坂の上の雲ミュージアム 2階ホール

定員 | 100人（事前申し込み、先着順）

料金 | 無料

申込方法 | 電話、ファクス、eメールで、坂の上の雲ミュージアムまで

①住所②氏名③電話番号④申込人数をお知らせください。

申込先 | 坂の上の雲ミュージアム「10周年シンポジウム」係

TEL:089-915-2601 FAX:089-915-3600

eメール:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp

締め切り | 2017年12月2日（土）

問合せ先 | 坂の上の雲ミュージアム事務所

TEL:089-915-2601 FAX:089-915-3600

青木亮人

1974年、小樽市生まれ。愛媛大学教育学部准教授。専門は近現代俳句を中心とした日本文学。2014年「その眼、俳人につき」で愛媛新聞出版文化賞大賞を受賞。2017年、NHKカルチャーラジオ「俳句の変革者たち 正岡子規から俳句甲子園」に出演。数多くの俳誌にエッセーなどを連載。愛媛新聞「四季録」連載（2013～2014年）等を通じて地域資源を探访し、地域文化の魅力についても情報発信している。

竹下景子

1953年、名古屋生まれ。NHK「中学生群像」出演を経て、1973年NHK銀河テレビ小説「波の塔」で本格デビュー。映画「男はつらいよ」でマドンナ役を3度務めたほか、大河ドラマや「北の国から」シリーズ（1981～2002年）などのドラマや、舞台に数多く出演。2009～2011年のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」では、秋山兄弟の母貞を演じる。2015年2月、夫の関口照生氏とともに内子町まちづくり応援大使となる。

徳永高志

1958年、岡山市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修了。博士（文化政策学）。2004年にNPO法人クオリティアンドコミュニケーションオペアーツ（通称QaCoA）設立。茅野市民館コアアドバイザーのほか、内子座、淡路人形座のアドバイザーをつとめ、神戸市、松山市、伊予市、久万高原町などの自治体の文化政策にかかわる。慶應義塾大学大学院非常勤講師。著書に、『芝居小屋の二十世紀』（1999年、雄山閣）、『公共文化施設の歴史と展望』（2010年、晃洋書房）、『内子座』（2016年、学芸出版社）など。

松本啓治

1949年、西予市生まれ。1972年、松山市役所入庁。2004～2010年、坂の上の雲まちづくり担当部長。2010～2014年、坂の上の雲ミュージアム副館長。愛媛大学教授を経て、2017年4月から坂の上の雲ミュージアム館長。

木藤たかお

1947年、松山市生まれ。フリーアナウンサー。ニッポン放送のオールナイトニッポンのパーソナリティなどを勤める。その後フリーとなり、クイズドレミファドンや桂三枝の連続クイズなど多くの番組で活躍。現在、「スーパー」チャンネルえひめ」のコメンテーターをつとめる。また、愛媛大学国際連携推進機構の客員教授もつとめ、「日本語表現」と「日本語リテラシー入門」など4講座を担当。

坂の上の雲ミュージアム

SAKANOUE NO KUMO MUSEUM

〒790-0001 愛媛県松山市一番町三丁目20番地 TEL 089-915-2600 FAX 089-915-3600

E-mail:saka-museum@city.matsuyama.ehime.jp URL:http://www.sakanouenokumomuseum.jp/

アクセス

- ・JR松山駅から [所要時間約10分] 市内電車（道後温泉行）—— 大街道下車—— 徒歩2分
- ・道後温泉から [所要時間約10分] 市内電車（全線）—— 大街道下車—— 徒歩2分
- ・松山空港から [所要時間約30分] リムジンバス（道後温泉行）—— 一番町下車—— 徒歩2分
- ・松山観光港から [所要時間約30分] リムジンバス（道後温泉行）—— 一番町下車—— 徒歩2分
- ・松山自動車道松山インターから [所要時間約20分]

